

「高め基調」で推移するが、北部海域に冷水が迫る
(平成25年4月の海況と今後の予測)

平成25年4月23日
茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況(図1, 4/18現在)

- ・黒潮の流型は、やや蛇行したN型基調で推移しています。本県周辺海域での黒潮は、犬吠埼を接岸傾向のまま北東に流去し、北緯37° 東経145° 付近まで北上傾向を示しています。また、本県沿岸には黒潮本流から暖水が波及しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39.5° 東経142.5° 付近(岩手県宮古沖)にあります。親潮の面積は平年よりも大きめです。仙台湾～常磐海域の沖合に親潮第一分枝から切り離された冷水域(表面水温5～7℃)が存在しています。

2. 海洋観測結果(4/10～15:調査船「いばらき丸」)

- ・時化の影響により、犬吠埼定線の全定点、会瀬沖合および鹿島沖合の一部定点が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～12に、会瀬・大洗定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図13～16に示しました。表面水温は、会瀬沖で15.9～20.9℃, 大洗沖で14.4～21.0℃, 鹿島沖で14.2～15.9℃(沿岸2点のみ)でした(図2)。
- ・前月と比べると、表層～100m深で昇温傾向(+1～+3℃), 100m深より下層では降温傾向(-4～-1℃)となりました(図6～7, 図13～14)。
- ・平年と比べると、黒潮本流からの暖水波及が続いたため、本県海域のほぼ全域で「高め基調」となりました(図8～9, 図15～16)。今年1月以降、本県海域では高め基調の水温環境が継続しています。
- ・潮流の特徴として、1ノット以上の真潮(北向きの潮流)が大洗および鹿島定線の沿岸で観測されました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は直進型のN型から蛇行型のB・C型に移行するでしょう。今後、黒潮の蛇行部が犬吠埼沖を東進するため、本県沖での黒潮流路は北東～東方で大きく変動するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並で推移し、親潮第一分枝の先端は北緯39° 東経142.5° 付近(岩手県大船渡沖)まで若干南下するでしょう。また、仙台湾～常磐海域の沖合に存在する冷水が徐々に南下することで、本県北部海域の水温が現在よりも降温する可能性があります。
- ・水温を平年と比べると、「平年並～高め」で推移するでしょう。

